

JSA 神奈川支部通信

No. 10 October 2025 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：<https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ JSA 神奈川支部研究交流会「深刻になる異常気象」のお知らせ JSA 神奈川支部幹事会
- ◆ 学習会：地球沸騰化を止めるために県行政、県民が出来ることは？ 平和で明るい県政をつくる会
- ◆ 県政ウォッチ・県内基地調査のお知らせ 平和で明るい県政をつくる会
- ◆ 第 1 回日本科学者会議 PFAS 問題全国シンポジウムの案内 日本科学者会議 PFAS 問題研究委員会
- ◆ JSA 関東甲信越地区シンポジウム「生活と化学物質」の報告 飯岡ひろし
- ◆ 横浜ノースドック米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会が第 3 回総会を開催 後藤仁敏
- ◆ 市民のための横浜市政を進める会が各区・団体関係者会議を開催 後藤仁敏
- ◆ 「新かながわ」の創刊 60 年を記念して講演とシンポジウムを開催 後藤仁敏
- ◆ 国立科学博物館特別展「氷河期展」の見学会のお知らせ 神奈川地学ハイキング

JSA 神奈川支部研究交流会「深刻になる異常気象」のお知らせ

JSA 神奈川支部幹事会

日本科学者会議神奈川支部は、支部研究交流会を「深刻になる異常気象－気候危機は打開されるのか」をメインテーマに、10 月 25 日(土)13 時から 17 時まで、JR 関内駅徒歩 5 分のかながわ労働プラザで開催します。

日本では観測史上はじめとなる 40 度をこえる気温が各地で記録され、地球温暖化による海水温上昇、偏西風蛇行、高気圧の発生などが明らかになっています。もはや、CO₂の削減がまったなしになっているなかで、日本政府は火力発電を温存し、原子力の新增設を図って、太陽光、風力などの再生可能エネルギーの普及に背を向けています。

今回の研究交流会では気候危機の打開の筋道を考えます。

また、同時に会員の専門性や問題意識を生かした、さまざまな話題提供をします。会員、会員でないにかかわらずどなたでも無料で参加できます。多くの皆さまの参加を呼びかけます。終了後、有志で懇親会を行います。

日時：2025 年 10 月 25 日(土) 13:00～17:00

会場：かながわ労働プラザ 4 階第 4 会議室 (045-633-5413)、参加無料(会場変更)

交通：JR 石川町駅中華街(北)口徒歩 5 分

記念講演 1：日本における環境影響評価法の歴史

石原 元 (株)W&I アソシエーツ 1950 年 2 月 16 日神奈川県生まれ、神奈川県藤沢



市在住。秋田県大仙市に単身赴任中。1975 年東京水産大学増殖学科卒、1977 年同大学大学院修士課程修了。1990 年東京大学農学部農学博士。専門は魚類系統分類学、進化・生態学。1993 年から 2013 年まで、国際自然保護連合 IUCN 種の保存委員会サメ専門家グループで北西太平洋の議長を務める。国内外で水産と環境の学際領域で活動、現在は秋田県の洋上風力発電事業の環境影響評価に従事する。フィールドは国内全域、海外 50 か国。

講演要旨： 演者は約 35 年間にわたり民間・公共を問わず様々な事業の環境影響評価に従事して来た。現在は風力発電事業の環境影響評価に携わっている。その中で日本における環境影響評価の課題が明らかになって来たのでこの点についてお話しする。

現在でこそ環境先進国を自認している日本であるがその歴史は苦いものばかりである。1956 年に公式に発生が確認された水俣病は世界に類例を見ない身体に及ぶ公害病であり、新潟水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくと合わせて日本の四大公害病と呼ばれる。水俣病の認定から 1967 年の公害対策基本法成立までに 11 年の年月が費やされている。典型七公害と四大公害病その他公害により高度経済成長時の日本はまさに公害先進国であった。日本では環境問題が先ず公害として出現し、その後に各種事業の環境影響評価という流れがあった。

総理府の外局として環境庁が発足するのが 1971 年、環境基本法の成立が 1993 年、環境影響評価法の成立は更に後の 1997 年である。環境庁が環境省に格上げされるのは 2001 年である。アメリカ合衆国で環境保護庁 United States Environmental Protection Agency が設立されるのが 1970 年、同国において National Environmental Policy Act 国家環境政策法が成立するのはその 1 年前の 1969 年である。日米間では環境影響評価法の成立に約 30 年の時間差がある。

わが国の環境影響評価法の課題として、大きくは 3 つあげられる。先ず、この法律は事業による環境影響を標榜しつつも事業実施の可否を判断する有効な手段がなく、単なる手続き法になっている。次に、事業開始後に事業前の環境状態と比較する手段はほとんどなく、事業開始後に環境が改悪された場合でも事業を中止させることが事実上不可能である。最期に日本の環境影響評価は対象が自然環境（生物環境と物理環境）一辺倒であるため、社会環境に対する配慮がなく、事前に住民その他ステークホルダーとの調停がなされる事がない。問題が起きた時には事業が成立しているのである。

記念講演 2：気候危機を止めるための視点と行動

山本大貴 record 1.5 2003 年東京都生まれ、慶應義塾大学総合政策学部在籍。当時高校 1 年生の際に参加した、令和元年東日本台風（2019 年）での災害ボランティアの経験をきっかけに危機感を感じ、翌年の 2020 年 4 月から気候変動対策の欠如を訴えるムーブメント「Fridays For Future」にオーガナイザーとして参加。2021 年 4 月には、日本の 2030 年温室効果ガス削減目標の引き上げを求めて学校ストライキを実行した。また、音楽ライブイベント「Climate Live」の日本チーム「Climate Live Japan」で共同代表を務め、同月に開催した。その後も気候危機に関する様々な市民ムーブメントに携わり、2022 年には気候危機を記憶する発信型ムーブメント「record 1.5」を立ち上げ、主に映像や音声コンテンツを通して様々な当事者の声や危機感を共有し、解決に向けた対話を目指す発信をしている。（引用 <https://power-shift.org/ambassador08>）



講演要旨： 世界は産業革命前からの平均気温上昇を 1.5 度に抑えるため、化石燃料からの脱却や再生可能エネルギーへの移行を進め、温室効果ガス（GHG）削減を急いでいますが、そのスピードは不十分で

す。日本も 2050 年カーボンニュートラルを掲げていますが、世界第 5 位の排出大国として、この数年で急速な削減を行う責任があります。「2050 年達成＝成功」ではなく、今この瞬間の行動こそが重要です。

こうした現状を話すと、「やはり無理ではないか」と落胆する声も出ます。しかし、GHG 削減を阻む最大の要因は技術ではなく、政治です。

昨年から今年にかけて、新たなエネルギー基本計画や地球温暖化対策計画の改訂が行われました。本来なら丁寧な議論が不可欠ですが、政府審議会では複数のシナリオや意見が示されたにもかかわらず、結論ありきで進む様子が見られました。エネルギー政策は複雑で、計算の前提や数値設定によって結論は大きく変わります。NGO や研究機関からは、より急速な削減と経済性を両立できる提案も出されていましたが、中心となったのは再エネを過小評価し、火力発電依存を長引かせるシナリオで、経団連などが支持していました。

さらに、日本では再エネに対するネガティブなイメージが広がり、推進見直しを訴える政治家も増えています。一部、ネット上などでは、再エネ事業を外国勢力の陰謀とする根拠のない言説まで流布されています。

2025 年度の気候・エネルギー予算を見ると、化石燃料関連が全体の 38%を占める一方、再エネはわずか 4%にとどまります^{*1}。再エネ投資は圧倒的に不足しており、化石燃料依存を前提に補助金を注ぎ込み続けることは、将来的な経済負担をむしろ大きくします。

一方、産業革命が始まった国であるイギリスは昨年、G7 で初めて石炭火力を廃止し、再エネ比率を大きく伸ばしています。イギリスには、政府から独立した「気候変動委員会」が科学的根拠に基づき政府に助言を行う仕組みがあります。制度設計と政治の姿勢が、対策の成否を左右する好例です。気候危機は、人権問題です。最大の被害を受けるのは、小島嶼国やグローバルサウスの人々、子どもや高齢者など、脆弱な立場にある人々と、これから生きる将来世代です。構造的な不平等に目を向け、迅速かつ公正な政治判断を進めることで、私たちはこの未曾有の危機に立ち向かうことができます。^{*1}: Climate Integrate レポート「日本の気候・エネルギー予算 2025：政府予算と GX 投資の分析

【話題提供】

1 再生エネルギーで脱炭素は可能なのか（仮題） 歌川 学

東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程修了。産業技術総合研究所主任研究員。博士（工学）。専門は機械工学、環境工学で温暖化エネルギー対策普及の評価、国・地域の温暖化対策シナリオ研究に従事。著書に『スマート省エネ』（東洋書店）、『入門 再生可能エネルギーと電力システム』（日本評論社、分担執筆）、『地域分散型エネルギーシステム』（日本評論社、分担執筆）など。

2 神奈川地学ハイキング 70 回の歩みー1 人でもできる普及活動 後藤仁敏

東京教育大学理学研究科修士課程地質学鉱物学専攻修了。東京医科歯科大学（現、東京科学大学）歯学部口腔解剖学教室助手、鶴見大学歯学部解剖学教室講師・助教授、鶴見大学短期大学部歯科衛生科教授、鶴見大学名誉教授を歴任。専門は、古生物学、歯学、解剖学。著書に『唯臆論』（中公文庫）、『歯の比較解剖学』（医歯薬出版、共著）、『図説 歯からみた生物の進化』（朝倉書店）など。

3 横須賀石炭火力発電所の建設反対運動とその後・・・（仮題） 鈴木陸郎

「エネルギー問題を考える横須賀の会」共同代表（横須賀石炭火力を考える会から改組）。若いときに川崎に住んでいました。その時の川崎というと、もう公害の街と言われていたんですね。…大気汚染物質というのは。目に見えないのに病を起こすというそういう経験もあって、そういう思いは他の人にし

てほしくないというのはとても強く思っています。 https://foejapan.org/issue/staffblog/2018/12/06/yokosuka_2

4 ブラックホールは白くなる 北山宏之

静岡大学理学部物理学科卒業 卒論テーマ：場の量子論。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了学位（工学）テーマ：有機固体のキャリア移動に関する研究。キャノン（株）社内の主な仕事内容：複写機開発センター、液晶デバイス開発部、中央研究所、知的財産課などで、主に複写機感光体の開発、液晶ディスプレイや有機ELディスプレイの研究・開発・特許業務に従事。JSA 神奈川民間企業会員懇談会。

5 繰り返す水道料金の値上げ—生存権は保障されるのか 飯岡ひろし

東京都台東区金杉生まれ、大都市の水道事業で技術職として働く、地球温暖化対策の実務に携わる。働きながら駒澤大学法学部法律学科、横浜市立大学大学院国際文化研究専攻、博士後期課程単位修得満期退学、専攻は都市と水道事業の社会史、SUW 研究所代表、水資源・環境学会理事、エネルギー管理士（電気）、著書は『相模川流域誌』（共著）など。

学習会：地球沸騰化を止めるために県行政、県民が出来ることは？の案内

平和で明るい神奈川県政をつくる会

7～8月は連日「危険な暑さ」と報道され、対処が声高に言われますが、根本的な対策が報道されることは多くありません。でも、多くの人がこのままではいけないと思っているのではないのでしょうか。神奈川県政においても重要な課題になると考え、JSA 神奈川支部も参加する「平和で明るい神奈川県政をつくる会」として、学習会：毎日、毎日、危険な暑さ。どうなっちゃうの？「地球沸騰化」を止めるために県行政、県民が出来ることは？」を企画しました。世界や日本のとりくみの現況や課題を知り、県行政や企業などは何をすべきなのか、県民はどのような役割を発揮すれば良いのか、などについて一緒に学び・考えてみませんか。お待ちしております。



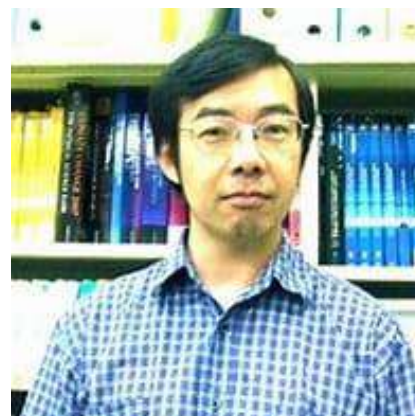
日時：2025年9月23日（火・休）13:30～16:30（予定）

会場：かながわ労働プラザ 4F 会議室（JR 石川町駅徒歩5分）

講師：歌川 学さん（産業技術総合研究所キャリアエキスパート）

略歴と研究の主要分野：東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士前課程、修了。通産省公害資源研究所入所、その後改組で産業技術総合研究所。専門は機械工学、環境工学で温暖化対策、省エネ対策の技術選択評価、対策シナリオ研究に従事。

講演内容（予定）：世界や日本の気候危機へのとりくみ状況と課題、神奈川県「地球温暖化対策条例・計画」の評価と課題、「地球沸騰



化」に対して、県行政・県民は何をすべきか・できるのか

参加費：無料 事前申込みの必要はありません

主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会（問合せ：神奈川労連（山田）[TEL:045-212-5855](tel:045-212-5855)、メール：[info\(at\)kanagawa-rouren.jp](mailto:info(at)kanagawa-rouren.jp)

県内基地調査・県政ウォッチのお知らせ

平和で明るい神奈川県政をつくる会

2027年4月の県知事選挙に向けて、JSA 神奈川支部も参加する「平和で明るい神奈川県政をつくる会」では、県政ウォッチ・県内基地調査を実施します。内容は、戦争遂行のための強化が進められている横浜ノースドック、横須賀米海軍基地、米軍厚木基地の調査です。横須賀では船に乗って間近に米海軍基地を見ます。多くの皆様の参加を呼びかけます。

日時：9月25日（木）9:00～16:00

集合：9時に桜木町駅市役所側改札を出た広場に集合

コース（予定）：9時15分：ハンマーヘッドパークからノースドック視察、11時：横須賀米軍基地を船から視察、乗船所の近くで昼食、13時：厚木基地に向けて出発、途中のPAで昼食、14時：厚木基地の視察、15時：大和駅を經由して横浜駅西口に出発

参加費 4000 円（高校生以下 2000 円）乗船料を含む 要予約

予約方法：神奈川労連・山田（電話 045-212-5855、Fax. 045-212-5745、E-mail：[info\(at\)kanagawa-rouren.jp](mailto:info(at)kanagawa-rouren.jp)）に名前、所属、携帯電話とメールアドレス、住所を連絡ください。



横須賀に入港した米原子力空母

JSA60 周年記念 第1回日本科学者会議 PFAS 問題全国シンポジウムのお知らせ

日本科学者会議 PFAS 問題研究委員会

最近、PFAS（有機フッ素化合物）による水道水、地下水、河川水、血液などの汚染が、全国的に問題となっています。日本科学者会議では、2023年11月の近畿地区主催の「PFAS 汚染問題シンポジウム」、2024年11月の「25 総学 PFAS 分科会」、『日本の科学者』11月号 PFAS 特集などを企画してきました。

日本科学者会議会員有志は、PFAS 汚染地域の市民団体と協力してこの問題に取り組んでおり、会員有志と関心のある会員を委員に募集して、今年度から PFAS 問題研究委員会を立ち上げました。被害地域住民や会員外の科学者とも協力して、下記のとおり、オンライン全国シンポジウムを開催しますので、奮ってご参加ください。

日時：11月9日（日）9:00～17:00 オンライン ZOOM 開催 参加：無料ですが、カンパを次の「投げ銭」システムでお願いします。投げ銭システム（クレジットカード払い）：<https://square.link/u/21p4jVpM>
参加申込み：下記の Google フォームからお願いします。 <https://docs.google.com/forms/d/1FA1pQLSepgc6rZccpEskgjw0D0EjjRfvcPp30EVp01ZKHYPVvic3Q/viewform?usp=header> Zoom 参加の登録：次の URL からお願いします。 <https://us06web.zoom.us/j/87216880854?pwd7eY8ykofjxXdb58>

jikJYG3gBRTILE.1 ミーティング ID: 872 1688 0854 パスコード: 254936

プログラム：開会あいさつ 畑明郎(PFAS 問題研究委員会委員長)

基調講演 小泉昭夫(京都大学名誉教授)「吉備中央町 PFAS に関する健康影響評価の暫定結果報告の問題点:住民による登録研究の可能性」、原田浩二(京都府立大学教授)「PFAS による環境汚染の事例と今後の課題」

発表 金谷邦夫(大阪 PFAS 汚染と健康を守る会)「ダイキン現場労働者にみられた間質性肺炎—PFOA 粉塵吸入が関与?」、九尾牧(兵庫県議会議員)「兵庫県明石川の PFAS 汚染調査と宝塚市民血液検査結果」、安曹政治(京都府あやべ PFAS 汚染から健康を守る会準備会)産業廃棄物管理型最終処分場からの高濃度 PFAS 流出」、近藤正(秋田県立大学生物資源学証秋回支都)「秋田市とその周辺にある産業廃棄物処分場からの PFAS 流出」、笹嶋貞子(秋田県大館市 PFAS と市民の健康を考える会、「河川の PFAS 汚染対策を求めて」、畑明郎(元大阪市立大学教授・滋賀支部)「京都府と滋賀県の PFAS 汚染」、松岡武夫(四日市公災害市民ネット・二重支部)「二重県四日市の PFAS 問題と公書の教訓」、鈴木孝雄「清水 PFAS 問題を考える会連絡会」「静岡市清水区 PFOA の現在、過去、未来」、今尾明実(PFAS 汚染からいのちと水を守る各務原市民の会)「岐阜県各務原市における 2 回目の血液検査結果と現状」、長岡ゆりこ(大阪 PFAS 汚染と健康を考える会)「大阪 PFAS 汚染と健康を考える会の活動・運動」、和口壮平(ダイキン公害問題を考える会)「公害行政の進歩と退化:ダイキン PFOA 問題に対する公害調停の取り組み」、小橋かおる(有害物質に関する人権擁護者/HR Defender on Toxics)『『ビジネスと人権』から考える企業由来の PFAS 汚染:汚染事業者の責任とはなにか』 総合討論:PFAS 汚染にどう立ち向かうか

主催 日本科学者会議 PFAS 問題研究委員会 連絡先メールアドレス:hata.akio(at)gaia.eonet.ne.jp

JSA 関東甲信越地区シンポジウム「生活と化学物質」(9月6日)の報告

飯岡ひろし

日本科学者会議の関東甲信越地区(1都6県の支部)では、コロナ禍以降は見送っていた地区シンポジウムを、9月6日(土)の午後から、中央大学の茗荷谷キャンパスでオンライン併用にて開催しました。テーマは『生活と化学物質～化学物質の有害性と私たちは化学物質に頼らない暮らしはできるだろうか～』です。第1部は東京農工大学名誉教授、高田秀重さん(東京支部)『プラスチック条約による生産規制～化学物質曝露の削減と私達の健康のために～』と尚絅学院大学名誉教授、北條祥子さん(宮城支部)の『便利な生活の裏側の健康障害「環境過敏症」とは?～化学物質過敏症、香料過敏症(香害)を中心に考える～』の講演、第2部は『化学物質と私たち—様々な立場からの発言と討論・提言』として元新潟県内私立大学教員の栗生田博子さんから、香害(香りつき製品のニオイによって体調を崩す化学物質過敏症)の体験をまじえた報告『化学物質過敏症教員を辞めた理由/現在の症状/洗剤など化学物質とのつきあい方』がありました。

主催者を代表して埼玉支部の丹生さんが「化学物質とどのように向き合って暮らしたよいかを考える企画としていたしました。当初、今話題となっている PFAS の問題を取り上げる案も検討されましたが、より広く私たちの日常生活にとりいられている化学物質に関して考えていく機会にしよう」としたと趣旨を説明しました。化学物質とは「化学物質とは、化学反応によってつくられた物質のことをいいます。自然にできたものも、人間がつくったものも、すべてが化学物質となります。化学物質はわたしたちの身近にもたくさんあり、水や砂糖、ゴムやプラスチックなども化学物質になります」(日本食品衛生協会:<https://www.n-shokuei.jp/town/chemical/chemical.html>)という解説がありますが、しかし、世

界では約 10 万種、日本では約 5.5 万種が工業的に製造されて流通し、毎年 500 種類以上の科学物質が市場に供給されている」それ、法規制はおよばずメーカー任せになっているそうです。

第 1 部の講演では、高田さんが、人間活動の無秩序な拡大にともなうインパクトは地球環境の容量をこえ、気候変動、生物多様性、環境汚染などの環境機器を起こし、人工化学物質による環境・人体の汚染は直接人間に影響を与える深刻な問題である。合成洗剤、プラスチックの使用によって、化学物質過敏症、香害、乳癌・子宮内膜症の増加、精子数の減少、子どもの脳発達への影響、免疫力の低下があるが、個体差はあるが暴露が大きくなると多くの個体、そして全体個体に影響がでる。また、プラスチックはポリエチレンなどのポリマーと添加剤から構成され、人体に有害なものもあるが、劣化したモノマー、添加剤には内分泌攪乱が含まれる。プラスチックの溶出、揮発によって飲食や大気から取り込まれ、さらに、微細化したマイクロプラスチック（直径 5 mm 以下）が食物連鎖によって濃縮され、人に入ると、あいまって健康への被害が表面化すると言われました。すでに研究か人体に有害であるものが特定されつつあるが、「化学物質含有の透明性が確保されていない現状では、合成洗剤とプラスチックの生産。使用量を削減していくことにより、化学物質の層暴露量を減らして行くことが必要」と結ばれました。

北條さんは、「環境過敏症（環境不耐症）について、通常では問題にならないような身の回りの微少な化学物質、生物的要因、物理的要因により、多器官に由来する多彩な症状が重層的に現れる健康障害の総称」で、その代表例に香料過敏症があると話されました。香料過敏症は化学物質過敏症の一種であるともいえますが、化学物質過敏症は自分で使用しない、取らないなどの方法がありますが、香料過敏症はそれを使用した環境、個人からの影響によるものであることから、容易に避けることができません。また、突然のように発症し重篤化すると少量であっても激しいめまいなどで、外出ができなくなると、社会生活に深刻な支障があらわれること、日本では 7 % 以上の人が被害を訴えていることと相まって、害香料過敏症＝香害は化学物質過敏症と区別して言うことが多くなったようです。日本では、香害、化学物質過敏症、電磁過敏症（デジタル教科書）などで不登校となる例が報告されているそうで、「幼児期からの生活環境の構築」が大事であることから、環境過敏症状に関する国規模の実態調査を始めたとのことでした。

第 2 部の栗生田博子さんは突然の発症から、教員をやめざるを得なくなった実体験を話されました。その原因は洗濯で使用した柔軟剤にあったとのこと。いま、テレビなどの広告では、香りを強調するものが盛んに流れています。香りをつけるために、人工的に開発されたこの物質の弊害は数多く報告されていますが、洗剤メーカーは根本的な対策をしようとしませんし、企業秘密のもとで、物質の内容を開示されていません。この報告のあと会場、オンラインで 10 人の発言がありました。

いま、国際的にはプラスチックの規制をめぐる条約を結ぶための、会議が開催されていますが、企業の介入もあって合意案作成の段階で難航しているようです。日本では、科学物質の規制をする法律はありますが、その対象となるのは全体から見ると僅かなものであって、新しく合成された化学物質への対応はまったくできていません。企業、まかせにしない規制が切実です。会場で 20 人、オンラインで 100 人の参加でした。

横浜ノースドック配備反対連絡会が第 3 回総会を開催

後藤仁敏

2025 年 8 月 24 日、横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会が、横浜市内で第 3 回総会を開催し、24 人が集まりました。はじめに、共同代表の私が「県民署名に続いて衆参両院議長あての請

願署名に取り組み、提出のための院内集会を開催したことは意義深い。配備撤回・全面返還を必ず実現しよう」と挨拶しました（後述、図1）。

続いて、飛田久男事務局長が3年間の活動を報告し、今後の運動の提起しました（図2）。昨年4月にはノースドック学習ク学習パンフを作成、5000部印刷し、4400部を普及した。昨年12月には基地周囲の4000戸に土地利用規制法の注視区域指定の問題点を知らせる各戸配布をした。衆参議長あての請願署名は1万筆集め、立民・共産・社民の6名の国会議員が紹介議員になり、6月11日に院内集会を開いて提出した。審議未了大きな力となった。今後も署名などさまざまな運動を進めようと、呼びかけました。

次いで、住谷和典さんから会計報告がありました。討論では、鶴見区と保土ヶ谷区での毎月の定例宣伝、座間で基地外に米軍専用住宅が建てられている状況などが報告され、ネット発信を強化し、ノースドックの危険な本質を広めようとの呼びかけがありました。最後に、役員と事務局も含めて、大きな拍手で議案が承認されました。役員と事務局も含めて、大きな拍手で議案が承認されました。

ついで記念講演として、萩原伸次郎さん（横浜国立大学名誉教授）が「トランプ第2次政権の世界戦略をどう見るかーとりわけ軍事戦略とのかかわりで」について次のように話しました（図3）。

元補佐官のジョン・ボルトン氏は「トランプはプーチンの言いなりになる」と述べたが、アラスカでの会談ではプーチンを赤絨毯で迎えたが、ゼレンスキーはNATOの協力で領土分割を認めずに停戦は実現できなかった。イスラエルのガザ攻撃は激化し、ネタニヤフ首相全面支持のトランプは国際法を踏みにじってイランの核施設を攻撃した。アメリカの政治は不安に陥っている。

ソ連崩壊後、アメリカの一極支配が実現したが、オバマ政権は躍進する中国を意識してTPPによってドル権維持を進めたが、トランプ第1次政権は中国封じ込めを狙ったが、コロナ対策に失敗し、世界の死者を出し、自身も感染し、バイデン政権が生まれた。バイデン政権は財政支援策を進めるが3兆ドルを超える財政赤字、貿易赤字も1兆ドルを超えた。

トランプ第2次政権は衰退するアメリカ経済のなかで、戦後の貿易政策を完全に覆して高関税政策をとり、軍事的に中国を抑え込むのに日本を徹底的に利用しようとしている。5年間で43兆円の軍事費、憲法違反の敵基地攻撃能力の保有を進め、自衛隊を米軍指揮下に置いた。今年はGDP比3.5%、20兆円以上を要求している。

日本はアメリカの言いなりになるのではなく、中国、インド、アフリカと経済的に連携してゆく必要がある。何より、戦争でなく外交による平和が大切だ。核も基地もない平和な神奈川をつくろう。

最後に森卓爾共同代りが「今日決まった方針を実行するために、一緒に頑張りましょう」と閉会挨拶をしました。

アメリカの政治と経済について学び、戦争でなく平和の大切さを学んだ意義深い総会となりました。私の開会挨拶は以下のとおりです。



図1 開会挨拶する共同代表の私



図2 議案を報告する飛田事務局長



図3 記念講演する萩原伸次郎さん

皆さん、熱中症警戒アラートのなか、横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会の第3回総会にご参加くださり、まことにありがとうございます。横浜では山下ふ頭へのIRカジノ誘致反対のたたかいが2014年から取り組み、8年間におよぶ長く苦しいたたかいでしたが、最後の2年間は大きく闘いが盛り上がり、2021年の市長選でカジノ反対の市長が勝利し、みごとに撤回することができました。

ほっとしたのもつかの間、2023年1月11日の日米安全保障協議会、いわゆるツープラスツーで瑞穂ふ頭のノースドックに米軍揚陸艇部隊が配備されることが発表されました。この部隊は沖縄読谷村に司令部がある在日米軍第10支援群の指揮下に置かれたことを見ても、台湾有事に備えた米国の中国封じ込め戦略に参加する部隊で、南西諸島を戦場にする米国海兵隊の作戦を担うものです。横浜港が米軍や自衛隊の出撃拠点となるのです。

カジノは私たちからお金を奪うだけですが、出撃基地は敵の攻撃の対象となり、私たちの命を奪います。私たちはこれは許せないと、33団体が結集して、2023年7月14日に連絡会結成総会を開き、活動を始めました。2023年は、12人の学者・弁護士が呼びかけた米軍部隊配備の撤回とノースドックの早期全面返還をもとめる県民署名に幅広い方々と共同で取りくみ、昨年末には約6万の署名を山中市長に提出しました。

山中市長はこの署名をしっかりと受け止め、昨年6月18日に山中市長は当時の防衛省の三宅伸吾政務官を訪ね、ノースドックの早期返還を要望しました。また、市役所と中央図書館で米軍基地のパネル展を開催し、市民に基地問題を知らせる努力をしました。

県民署名に取り組むなか、私たちはこの問題が、そもそもノースドック基地の存在自体が市民に知られていないことを痛感し、昨年5月に「横浜を敵基地攻撃の出撃拠点にするな！」というパンフレットを作成、普及しました。このパンフレットは大変好評で、5000部印刷し、4400部が販売されていますが、それでもまだまだほんのわずかな数に過ぎません。

しかし、そうした私どもと横浜市の取り組みは無視され、昨年2月8日には40名の部隊が配備されて運用が開始され、ゲート前で200人以上の市民が反対の声をあげました。その後も、新しい揚陸艇が配備されるなど、昨年中には280人の部隊が揃いました。7月31日にはキャンプ座間にノースドックの部隊を指揮する第765輸送大隊が発足し、ノースドックではふ頭の大規模改修が今年から5億円～10億円をかけて行われることが明らかになっています。

これらの動きに対抗し、私たちは、昨年12月にはノースドックの危険性と土地利用規制法の問題点を告発するチラシを1km範囲の4000戸への配布を行いました。また県民署名を引きついで、衆参議長あての請願署名を進め、約1万の署名を提出するために、立憲民主党の早稲田ゆき・阿部知子衆院議員と水野素子参院議員、日本共産党の志位和夫衆院議員と小池晃参院議員、社会民主党の福島瑞穂参院議員の6名の紹介議員に来ていただいて、今年6月11日に院内集会を開催しました。短時間でしたが、意義深い集会になったと感じています。

さて、今日ははじめに第1部として総会議事を実施し、第2部として記念講演を開催することにしました。米軍基地について学ぶにはまず現在のアメリカについて学ぼうと、横浜国立大学名誉教授の萩原伸次郎さんに「トランプ大統領の高額関税と軍事費高額要求で世界・日本はどうなる」についてお話しいただきます。どうか最後まで、活発にご討論し、しっかり学んでくださるようお願いいたします。そして、米軍揚陸艇部隊の配備撤回とノースドックの全面返還をかならず実現し、平和で安全な横浜港を取り戻すまで頑張りましょう。

市民のための横浜市政を進める会が各区・団体関係者会議を開催

後藤仁敏

2025 年 9 月 1 日、横浜市内で市民のための横浜市政を進める会が市長選の活動を聴くための各区・団体関係者会議を開催し、38 名が参加しました。

はじめに、山中竹春市長が「皆様のご支援で 2 期目に当選させていただき、ありがとうございました。1 期目では IR の撤回、コロナ対策、以後は市民のための政策を進めました。横浜の好循環を持続するために 2 期目では市民目線が大切です。どうかこれからの 4 年間もよろしくお願いします」と挨拶しました（図 1）。



図 1 挨拶する山中竹春市長

政村修事務局長が、7 月 21 日の法定ビラ証紙貼りには 50 人以上が参加し、3 万枚の届け出ビラを各区で配布した、選挙では各地で市民が応援したなど、市長選での取り組みについて報告しました。

次いで、各区・団体から以下のような発言がありました。戸塚区からは選挙戦でのデマ・陰謀論と闘う必要がある。市民の市長をつくる会からは構成団体の中に異論があつて会全体として応援はできなかったが、市従労組・市労連・年金者組合などは積極的に応援し、ニュースも発行した。栄区からは栄区の会で活動して 18 区中で最多の 6 割近い山中得票率を実現した。都筑区からは「オール横浜」が何をめざすのか、今後注視する必要がある。港南区からは今後市長と意見交換の場をつくる必要がある。サポートアクションからは神奈川新聞が山中氏を自民党が応援しているとばかり報道したので、市民が目立つように運動した。南区からは自民党と市民の綱引きに勝てるよう、これまで以上に市長と密接な関係をもって運動を進めよう。港北区からは知る権利の大切さについて、西区からは 3 党だけでなく市民も応援している姿を示すためにプラカードを持って応援した、など。

政村さんから、「いただいたご意見はすべて持ち帰って検討したい。意見交換については、一度、政村が代表して質問し市長に答えていただいたが、今後も検討したい」と回答がありました。

最後に、岡田尚代表世話人が「私達は前回も新しい体験をしたが、今回もまた新しい体験をした。市長は自公にすり寄ったのではないと私は信じる。それが証拠に、2 期目の最初の日市民の会に来た。今後も頑張って市長を応援しよう」とまとめました。

「新かながわ」創刊 60 年記念講演・シンポジウムを開催

後藤仁敏

2025 年 9 月 6 日、週刊新聞「新かながわ」の創刊 60 年を記念して講演とシンポジウム「県民のたたかいと『新かながわ』の役割」が波止場会館で開催され、120 人の県民が集まりました。

はじめに、主催者として共産党の藤原正明県委員長さんと、私が挨拶（後述）し、横浜国立大学名誉教授の萩原伸次郎さんのメッセージが紹介されました。

ついで、横浜市立大学名誉教授の中西新太郎さんが、記念講演として「真実を報道するジャーナリズム、メディアの役割について」次のように話しました。「小さなメディアは社会の「スミッコ」で生きている多くの人たちの声をすくい取ることが得意で大きな力をもっている。伝えることの一つ一つが、そ

れを受けとる人びとの生きやすさを広げる力になるように願っている。

シンポジウムでは、河野建一編集長の進行のもと、菅原幹夫県平和委員会事務局次長、高橋勝也神奈川労連初代事務局長、渡部慶子新婦人県本部元事務局長、藤井建夫「新かながわ」元編集長、山本広志党県書記長が、それぞれ「新かながわ」への思いを話し合いました（図1）。



図1 シンポジウムに参加した6氏

山本さんは、35の都府県で民報が発行されており、大きさも頁数も発行もさまざまなこと、4頁化、カラー刷りをめざし、とりあえず4000部への拡大をめざそうと話しました。

週刊新聞『新かながわ』60周年挨拶

「新かながわ」創刊60周年、まことにおめでとうございます。60年前、私は18歳で、大学1年生でした。それから毎週毎週60年間も発行し続けてきた皆さんのご尽力に心から感謝します。また、本日は多くの方々ご参加くださり、ありがとうございました。私も執筆に参加している週刊新聞「新かながわ」への思いについてお話ししようと思います。

「新かながわ」は日本共産党神奈川県委員会が編集・発行を担っている県内唯一の週刊新聞として、県内各地の共産党、民主団体、労働組合、市民の活動を掲載しています。神奈川における革新統一運動を進める唯一の新聞です。私は前の編集長から「九条の会や革新懇の活動を書いてください」といわれ執筆に参加しました。ぜひ、これをもっともっと活用し、増やしていただきたいと思います。

「新かながわ」では、1面はおもに政治的な情報を、2面には社会的、文化的な記事を掲載しています。1面の記事は多く寄せられますが、2面の記事は不足がちです。最近では、河野編集長みずから「親子で山登り」を書き、川越綾さんは「シネマ散歩」という映画評を、高巢さんは県内の労働者の闘いの記事を、山下さんは「かながわ点描」という素晴らしい絵と文を、宇都宮さんは皆さんの俳句を集めて、なんとか紙面を埋めています。

私も「博物館・動物園・植物園を10倍楽しむ方法」、時々「ジュラシックワールド」などの映画評も書いています。最近「国立科学博物館の古代DNA展」や「映画『ジュラシックワールド』の映画評」を書いておきますので、是非ご覧ください。映画評は好きな映画を孫と見るのは楽しいのですが、原稿を書きそれを配給会社の担当者に校閲してもらい、画像とクレジットを提供していただくのは結構手間がかかります。気をつけなければならないのは「ネタばれ」で、どこまで書いていいのか了解をとる必要があるのです。記事を書くことは苦労ですが、苦労した記事ほど、それが掲載された時は大きな喜びがあります。県内各地の催し物案内もあります。ぜひ、お読みください。

「新かながわ」は皆さんからの投稿も求めています。県内各地の支部や地区の活動、民主団体や労働組合の活動、新婦人や年金者組合、各地の革新懇や九条の会、若者の動きなどの原稿を是非ともお送りくださるようお願いいたします。

じつは、毎月の執筆者会議で、その月の増減が報告されます。たまに増えることもあります。この数年間、減紙が続いているのが現状です。このままでは廃刊もやむを得ない危機的な事態を迎えています。

皆さんにお願いします。「新かながわ」の購読を周囲の皆さんに勧めてください。購読料は1カ月たったの400円です。できるだけ多くの皆さんに購読していただけるよう、努力してぎりぎりの価格で発行しています。

皆さん、60年も神奈川の革新統一をめざす報道を続けてきた「新かながわ」をそれぞれの活動にしっかり位置づけ、活用してくださるよう、購読者を増やしてくださるようここからお願いします。皆さんの力で「新かながわ」を増やし、神奈川での革新統一の運動、市民と野党の共闘、新しい国民的・民主的共同をさらに大きく広く進めましょう。

国立科学博物館「氷河期展」の見学会のお知らせ

神奈川地学ハイキング

2025年7月12日から10月13日まで、上野の国立科学博物館で特別展として「氷河期展・人類が見た4万年前の世界」が開催されています。

地球温暖化、地球沸騰化の暑い夏に相応しい行事となっています。246万年までに始まった氷河期にタイムスリップして、その時代の大型動物たち、ネアンデルタール人とクロマニヨン人という人類、旧石器時代の日本列島の人類と自然、浜北人と港川人の人骨化石や石器などについて見てみませんか。また、なぜ寒冷化な氷期と温暖な間氷期が幾度も繰り返したのか、その原因について考えてみませんか。そして、これからの地球は寒冷化するのか、このまま温暖化・沸騰化するのか、考えてみましょう。

本展では、ドイツのライス・エンゲルホルン博物館所蔵のマンモス、オオツノジカ、バイソン、ホラアナライオン、ホラアナグマ、ケサイなどの巨獣の骨格と生体復元、パリ国立自然史博物館所蔵のネアンデルタール人とクロマニヨン人の頭骨と復元模型と石器など、野尻湖ナウマンゾウ博物館所蔵のナウマンゾウの復元骨格と化石、オオツノジカの化石が展示されています。

神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会の合同行事として、9月27日に見学会を開くことにしましたので、多くの皆様の参加を呼びかけます。

第70回神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会合同行事：国立科学博物館特別展氷河期展・人類が見た4万年前の世界の見学

日時：9月27日（土）10:00～12:00 集合：国立科学博物館入口前に10時に集合

交通：JR上野駅公園口徒歩5分、雨天決行 案内：後藤仁敏（古生物学者）

持ち物：筆記用具、水分、当日券代など 当日券：大人・大学生2300円、小・中・高校生600円

主催：神奈川野尻湖友の会・地学団体研究会神奈川支部 問合せ：電話090-7175-1911、E-mail: goto(at)kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏



行事案内

☆9月18日（木）～23日（火）文化創作展 会場：平塚市民プラザ（JR平塚駅徒歩5分）サークルの作品、絵画、写真、手作り品、書などの展示 主催：年金者組合平塚支部 問合せ：0463-67-6824

☆9月19日（金）18:30～武力で平和はつukれない！強行採決から10年 戦争法廃止！9.19国会正門前大行動 場所：国会議事堂正門前 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション

☆9月19日（金）19:00～21:00 オンライン開催(zoom)・参加費無料！PARC連続学習会「お米高騰」問題から考える日本と世界の農と食ー「食の民主主義」のために 第2回お米騒動と「食の格差」ー減反、大規模化…日本の農政を検証する 講師：松平尚也さん（宇都宮大学農学部助教／NPO法人AMネット代表）申込み：以下のリンクからお申込みください。https://parc-jp.org/event_form/ 申込みいただいた皆様には、開催3日前17時までに参加リンクをご案内します。それ以降のお申込みについては随時対応させていただきます。アーカイブ配信予定です。申込み

のみなさんにはアーカイブ配信が確定しましたらご案内しますので、お申込みをお願いします。主催・問合せ：特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター (PARC) 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-7-11 東洋ビル 3F TEL: 03-5209-3455/FAX: 03-5209-3453、office@parc-jp.org

☆9月20日(土) 13:30～15:00 **参政党が批判封じ特定記者排除 第15回革新懇横浜連絡会総会記念講演** 会場：神商連会館4階ホール(東神奈川駅西口徒歩5分) 講師：石橋学氏(神奈川新聞記者)、太田伊早子氏(弁護士) 参加費500円 主催：革新懇横浜連絡会 問合せ：080-3727-5352

☆9月20日(土) 14:30～18:00 **腹話術のきずな 20周年記念公演** 会場：横浜にぎわい座(JR桜木町駅徒歩5分) 29人が出演 ゲスト：三遊亭絵馬・紙切り芸、IEG一輪車クラブ 入場料：1000円、障害者・学生500円 問合せ：044-544-3737

☆9月21日(日) 16:00～17:00 **マイナ保険証を強制するな!マイナンバーカードなんていらない!** 場所：JR新宿駅南口前歩道 主催：共通番号いらないネット(080-5052-0270)

☆9月22日(月) 13:30～15:30 **歌って元気!!ひるまのうたごえ喫茶** 会場：クラジャ(カフェ)(小田急線藤沢本町駅徒歩7分) 会費1000円(飲み物・お菓子付) 主催：藤沢合唱団 問合せ：070-1315-3501(新井さん)

☆9月22日(月) 19:00～ **消費税学習会「新しい情勢での減税運動」** 会場：神商連会館(JR東神奈川駅西口徒歩5分) 講師：中山真(中央各階連事務局長) 主催：消費税廃止県各会連絡会 問合せ：045-314-5551

☆9月23日(火・祝) **さようなら原発1000万人アクション** 東電・福島第一事故から早くも14年が過ぎました。さようなら原発1000万人アクションは、この秋、脱原発と気候正義のために声をあげます。主催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会 問合せ：さようなら原発1000万人アクション実行委員会(03-5289-8224)

☆9月23日(火・祝) 13:00～17:00 **第20回シンポジウム 歴史教科書・いままでとこれから 戦後80年と歴史教育の課題** 会場：早稲田大学早稲田キャンパス7号館307教室(東西線早稲田駅徒歩5分) 報告：米山宏史さん(歴教協)「高校歴史教育78年—その成果を学び、課題と可能性を考える」、松田英里さん(歴科協)「戦後80年目の現代史教育—戦争体験に向き合うための模索」、福原伊織さん(東京歴科研)「中学校歴史教科書の記述の変化 戦後史がどう扱われているか」、大江洋代さん(歴研)「歴史総合・探究系科目の入試出題を踏まえて」 資料代：一般1000円、学生・院生500円 主催：歴史学研究会、歴史科学協議会、東京歴史科学研究会、日本史研究会、地方史研究協議会、歴史教育者協議会、東京歴史教育者協議会、子どもと教科書全国ネット21 問合せ：090-8100-1038

☆9月23日(火・祝) 13:30～16:30 **学習会：地球沸騰化を止めるために県行政、県民が出来ることは?** 会場：かながわ労働プラザ4階会議室(JR石川町駅北口徒歩5分) 講師：歌川 学さん(産業技術総合研究所キャリアエキスパート) 参加無料 主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会 問合せ：045-212-5855(神奈川労連)

☆9月25日(木) 9:00～16:00 **県内基地調査・県政ウォッチ** 集合：9時に桜木町駅南改札 9時15分：ハンマーヘッドパークからノースドック視察 11時：横須賀米軍基地を船から視察 12時：乗船場近くで昼食 13時：厚木基地に向けて出発 14時：厚木基地の視察 15時：大和駅を経由して横浜駅西口に出発 参加費4000円(バス・乗船料・資料代) 昼食代は各自 主催：平和で明るい県政をつくる会 予約・問合せ：神奈川労連・山田(電話045-212-5855、Fax.045-212-5745、E-mail: info(at)kanagawa-rouren.jp)に名前、所属、携帯電話とメールアドレス、住所を連絡ください。

☆9月26日(金) 13:00～14:50 **第61回熱測定討論会 シンポジウム「熱現象と化学熱力学 科学リテラシーを育む理科教育」** 会場：横浜国立大学常盤台キャンパス理工学部講義棟 A棟 アクセス：<https://www.netsu.org/61touron/access.pdf> 主催：日本熱測定学会 参加条件：一般公開(無料) 期待される参加者：理科教育に関心の市民、小・中学校教員、高等学校教員、理科教員を目指す学生・院生、教員養成系大学教員、一般教育科目あるいは専門基礎科目として化学熱力学教育に携わる大学・高専教員 プログラム 13:00～13:20 長野八久(元大阪大学)：シンポジウムの趣旨説明、科学リテラシーとしての化学熱力学 (参考)特集「科学リテラシーを育む理科教育—熱現象への理解を深める教育活動の工夫」『日本の科学者』2025年60巻10号 特集「エントロピーの物質科学」『日本の科学者』2019年54巻3号 13:20～13:50 (発表20分+質疑応答・コメント10分) 古賀信吉(広島大学)：現行学習指導要領における熱現象や化学熱力学の扱い・位置付け、期待される成果、高等学校化学が目指すもの (参考)山内薫、古賀信吉他『高等学校化学』(第1学習社) 13:50～14:20 (発表20分+質疑応答・コメント10分) 佐藤陽子(鎌倉女子大学)：高校生の科学的リテラシー向上を目指した熱化学の導入事例の紹介—国際バカロレアディプロマプログラムの指導経験から— (参考)佐藤陽子「高等学校で「エンタルピー・エントロピー」をどう教えるか—国際バカロレアディプロマプログラムの指導経験から—」『化学と教育』2022年70巻6号 274-277 14:20～14:50 一般参加者を交えた討論

☆9月26日(金) 18:30～20:30 **学習会：マイナ保険証のトラブルはなぜ続くのか?** 会場：かながわ県民センター3階304会議室(横浜駅西口徒歩5分) 講師：藤田倫成さん(神奈川県保険医協会理事・医療情報部部長) 資料代500円 主催：共通番号いらないネット 連絡先：電話080-5052-0270(担当：宮崎)

☆9月27日(土) 10:00～12:00 **第70回神奈川地学ハイキング・神奈川野尻湖友の会合同行事：国立科学博物館特別展 氷河期展・人類が見た4万年前の世界の見学** 集合：国立科学博物館入口前に10時に集合(JR上野駅公園口徒歩5分、雨天決行) 案内：後藤仁敏(古生物学者) 持ち物：筆記用具、水分など 当日券：大人・大学生2300円、小・中・高校生600円 主催：地学団体研究会神奈川支部と神奈川野尻湖友の会 問合せ：電話090-7175-1911 E-mail: goto@kd5.so-net.ne.jp 後藤仁敏

- ☆9月27日(土) 10:30~11:30 **衆議院議員立憲民主党早稲田ゆきタウンミーティング** 会場：豊田地区センター2階
(JR 大船駅東口から戸塚駅行き江ノ電バスで飯島上町下車徒歩2分、JR 本郷台駅から戸塚駅行バスで飯島上町下車徒歩2分) 入場無料 主催・申込み：早稲田ゆき事務所(電話 0467-24-0573、Fax. 0467-24-0575、E-mail: info(at)waseda-yuki.jp)
- ☆9月27日(土) 13:30~16:30 **本牧・山手九条の会 20周年のつどい** 会場：横浜上野町教会(JR 山手駅徒歩12分)
第1部・平和ライブ「山路ゆう子&シュロ Tokyo」 第2部：記念講演 渡辺治(一橋大学名誉教授)「戦争をしない、させないために私たちは何をすべきか? 参院選後の新たな情勢をふまえ」 参加費 1000円、学生無料 主催：本牧・山手九条の会 問合せ：045-741-3195(横浜建設一般労組みなと支部気付)
- ☆9月27日(土) 14:20~16:50 **檻の中のライオン講演会** 会場：富岡並木地区センター2階(京急富岡駅徒歩7分)
講師：楳大樹(弁護士) 一般 500円、学生無料 主催：字実行委員会 問合せ：namiki.kurasi.kataru(at)gmail.com
- ☆9月27日(土) 16:30~ **望月衣塑子さんに聞く：「もがみ」型護衛艦のオーストラリアとの「共同開発」は歯止めなき武器輸出への道** お話：望月衣塑子さん(東京新聞記者、著書に『武器輸出と日本企業』『軍拡国家』など)「もがみ型護衛艦の「共同開発」で—武器輸出はどうなる」 会場：かながわ県民センター301会議室(横浜駅西口徒歩5分)
資料代 500円 主催：すべての基地に「No」を・ファイト神奈川(080-6888-9746)
- ☆9月28日(日) 9:00~ **湘南社民権散歩—学習会とウォーク「川崎の自由民権と大山街道」** 9時に JR 登戸駅改札集合 学習：鈴木勇一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)「地域開発とその後の民権家たち」 参加費 1000円(資料代、保険料など) 定員 30人 主催：雨岳民権の会 申込み：9月21日までに、kofun0525(at)yahoo.co.jp(豊)
- ☆9月28日(日)~29日(月) **2025年第70回日本母親大会 in 東京** 28日 13:00~16:00 分科会 会場：日本教育会館・全国教育文化会館・エデュカス東京 29日 12:30~15:30 全体会 会場：東京国際フォーラム・ホールA 講師：布施祐仁さん(フリージャーナリスト) 協力会員券：2日共通券 3300円、1日券 1800円 申込みは各県母親大会実行委員会へ 主催：実行委員会(03-3230-1836)
- ☆9月28日(日) 13:30~16:00 **平和を願う講演と音楽のつどい** 会場：茅ヶ崎市市民文化会館小ホール(JR 茅ヶ崎駅徒歩8分) 講演：布施祐仁(フリージャーナリスト)「日米軍事一体化と戦争のリスク」 弾き語り：李政美(歌手)「ありがとうのち」 チケット：前売 700円、当日 900円、大学生以下無料 主催：九条の会・ちがさき 申込み・問合せ：0467-83-3880(溝口さん)
- ☆9月28日(日) 14:00~17:00 **連続シンポジウム第4回「NHKのタブーと民主主義の危機~統一教会・ジャニーズ・選挙** 会場：立教大学池袋キャンパスタッカーホール(池袋駅西口徒歩10分) 講演者：鈴木エイト氏(ジャーナリスト、作家) パネリスト：吉永磨美氏(ジャーナリスト・元新聞労連委員長)、長井曉氏(ジャーナリスト、元NHKチーフプロデューサー)、砂川浩慶氏(立教大学社会学部長、メディア社会学科教授) 資料代 500円 ネット配信：YouTube でライブ配信します。URL: https://youtube.com/live/4lql29_w274 主催：立教大学社会学部メディア社会学科・砂川ゼミ、市民とともに自立したNHK会長を求める会 問合せ：長井曉(090-4050-5019) 共催：日本ジャーナリスト会議(JCJ)、NHKとメディアの今を考える会、放送を語る会、市民社会フォーラム、あけび書房
- ☆9月29日(月) 18:30~20:15 **日本平和大会ブレ企画「殺傷武器の共同開発と輸出のいま」** 開室形式：オンライン(Zoom) お話：富塚明さん(日本平和委員会常任理事)「殺傷能力って? 護衛艦って? そもそも解説と輸出の狙い」、山崎文徳さん(立命館大学教授、日本平和委員会理事)「戦闘機の共同開発とその背景、国際化が進む軍産複合体の現状」、矢野創さん(愛知県平和委員会)「愛知の軍需産業ミニレポート」 主催：日本平和大会実行委員会 担当団体：日本平和委員会 <http://j-peace.org/> 参加費無料 オンライン(zoom)で実施します。事前登録制です。申込みフォーム：<https://x.gd/19aTC> 入室方法や資料は、登録アドレスに前日までに送ります。申込み期日は当日(9/29)正午です。
- ☆9月29日(月) 19:00~21:00 オンライン開催(zoom)・参加費無料! **PARC連続学習会「お米高騰」問題から考える日本と世界の農と食—「食の民主主義」のために 第3回 食料不足時代の消費者を問い直す：市民皆農への道** 講師：小口広太さん(千葉商科大学人間社会学部准教授/PARC理事) 申込み：以下のリンクからお申込みください。https://parc-jp.org/event_form/ 申込みいただいた皆様には、開催3日前17時までに参加リンクをご案内します。それ以降のお申込みについては随時対応させていただきます。アーカイブ配信予定です。申込みのみなさんにはアーカイブ配信が確定しましたらご案内しますので、お申込みをお願いします。主催・問合せ：特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター(PARC) 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル 3F TEL: 03-5209-3455/FAX: 03-5209-3453、office@parc-jp.org
- ☆9月30日(火) 15:00~17:00 **参政党は何を考えている? 憲法学者が解説します** 会場：ネパールスパイス料理 E Masada(小田急江ノ島線中央林間駅徒歩5分) 参加費無料(ドネーション制) 17時~ dinner 会費 2200円(コース料理、ドリンク付) 申込み・問合せ：090-6166-8711(あべのりこ)
- ☆10月1日(水) 11:00~ **防衛大学校いじめ人権裁判** 11時~12時半、事前宣伝、新橋駅前 14時20分、傍聴集合 東京高裁前 15時、東京高裁101号法廷 裁判終了後、報告集会 会場：衆議院第1議員会館会議室 呼びかけ：防衛大学校いじめと人権侵害の裁判を支援する会
- ☆10月1日(水) 18:30~ **第32回千代田平和集会 今軍拡が進む中、戦後80年、被爆80年、治安維持法制定100年 憲法無視の新しい戦前から新たな戦中にさせないために** 講演：荻野富士夫さん(小樽商科大学名誉教授) 会場：

- エデュカス東京7階ホール（ZOOM配信あり） 資料代 500 円（学生は無料） 主催：千代田九条の会・千代田区春闘共闘委員会（共催） 問合わせ：千代田区労協（03-3264-2995） Web サイト：<https://chiyoda9.sakura.ne.jp/>
- ☆10月4日（土）13:30～ **レッド・ページとはなにか「DVD 視聴」と「語る会」** 会場：横須賀市生涯学習センター第2学習室（JR 横須賀駅徒歩5分） 資料代 500 円 主催：横須賀革新懇 問合せ：046-847-3253（鈴木）
- ☆10月4日（土）13:30～ **神奈川県及び県立病院等関連職員九条の会「総会と平和のつどい」** 会場：横浜市開港記念会館1階1号室（みなとみらい線日本大通り駅徒歩1分） 講演：中西新太郎（横浜市立大学名誉教授）「ポストコロナ禍時代に生き惑う若者たち」 参加費 500 円 問合せ・申込み：f.kaseiwaki(at)gmail.com（県職員九条の会）
- ☆10月5日（日）10:00～ **映画上映会「原発を止めた裁判長」** 会場：サイエンスホール 250（あつぎシティプラザ 6F、定員 100 名、小田急線本厚木駅東口徒歩3分） 参加費 500 円 申込み：080-1172-1094（山本）、090-3912-6797（大友） 共催：CN ピースあつぎ、生活クラブ生協あつぎコモンズ環境委員会
- ☆10月9日（木）19:30～21:30 **大学フォーラム第6回研究会 ZOOM 会議 いま、危機に瀕している大学の現状①** プログラム：片山知史さん（東北大学大学院農学研究科教授）、光本滋さん（北海道大学大学院教育学研究科教授）、討論 申込み：次の url から入りください。 <https://x.gd/HmtHf> Zoom meeting に参加。 <https://us02web.zoom.us/j/87482713517?pwd=roU3xlurTxKBajloSf2Toj0Bnwy8Wz.1> ミーティング ID: 874 8271 3517 パスコード: 041265 連絡先：大学フォーラム事務局長 井原聰（univforum(at)gmail.com）
- ☆10月11日（土）14:00～16:30 **宮前九条の会 20 周年記念・第 100 回学習会** 会場：宮前市民館大会議室（田園都市線宮前平駅徒歩10分） 特別講演：小森陽一（九条の会事務局長）「戦後 80 年、新しい改憲の動きと『九条の会』」 オープニング：みんなでうたおう ミニ『うたごえ広場』 アコーディオン：岩田百郎さん 資料代 500 円 問合せ：044-855-8896（若原さん）
- ☆10月11日（土）14:00～ **学習会「包摂のアプローチで消費税減税の大運動を」** 会場：かながわ建設プラザ 4 階（JR 東神奈川駅徒歩7分） 講師：石川康宏（神戸女学院大学名誉教授） 主催：消費税をなくす神奈川の会 問合せ・申込み：kenichi21950(at)gmail.com
- ☆10月12日（日）11:00～16:00 **第 40 回ピース・フェスティバル** 場所：横須賀市役所前公園 入場無料・開催協力券 1000 円 軍功クルーズ（定員 130 人）13 時出発 予約：メール [m_milai\(at\)ybb.ne.jp](mailto:m_milai(at)ybb.ne.jp) へ名前、電話番号、乗船者数を 10 月 10 日午前中までに。当日会場受付でも予約開始 開催協力券で乗船可 小学生以下は保護者同伴で無料 主催：実行委員会 問合せ：046-822-1850（三浦半島地区労）
- ☆10月12日（日）13:30～16:00 **第 21 回「横浜市非核兵器平和都市宣言」市民のつどい** 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口駅徒歩5分） 講演：和田征子（横浜市原爆被災者の会会長）「私たちの使命に新たな弾み！～ノーベル平和賞」、高橋博子（奈良大学教授）「核へのレジスタンス：『使える核』『核抑止論』の廃絶に向けて」 報告：青柳潤（高校生）「高校生平和大使として」 参加費 800 円、高校生以下無料 主催：実行委員会 問合せ：090-8726-5227（吉沢さん）
- ☆10月12日（日）13:30～16:00 **第 11 回鎌倉憲法学校：歴史を逆行させない～戦後日本の岐路に立って～** 講師：渡辺治さん（政治学者・一橋大学名誉教授） 会場：鎌倉婦人子供会館ホール（定員 100 人、JR 鎌倉駅東口から中央郵便局右に入って突き当たり、直ぐ前に見えます） 入場料 800 円（20 歳以下無料） 申込み：kamakura9jo@gmail.com へ氏名・電話・予約枚数記入のこと Fax. 0467-24-6577 へ氏名・電話・FAX 番号・予約枚数記入のこと 受付後、返信メール、Fax を送ります。当日、必ずお持ちください。店頭：島森書店、たらば書房 問合せ：0467-24-6596（井上） 主催：鎌倉・九条の会
- ☆10月13日（月・祝）14:00～16:00（予定） **神奈川合唱団ミニコンサート&うたう会 戦後 80 年・被爆 80 年 2025 うたのひろば** 会場：神奈川公会堂ホール（東神奈川駅西口徒歩5分） 参加費：一般 1000 円、当日 1200 円、中高生障がい者 500 円、小学生以下無料 懐かしい歌、新しい歌、闘いの歌、平和の歌、みんなを励ます歌 私をはげます歌 問合せ：神奈川合唱団ホームページ（<http://kanachorus.group.jp/>、メール [kanachorus\(at\)grupo.jp](mailto:kanachorus(at)grupo.jp)、090-9680-3714（高瀬）
- ☆10月18日（土）15:30～17:30 **どうする？ わたしたちの安全保障と憲法 9 条 東戸塚 9 条の会 20 周年記念の集い ドキュメンタリービデオ上映と交流会** 9 条を抱きしめて～元米海兵隊員アレン・ネルソンが語る戦争と平和 会場：東戸塚地区センター中小会議室（東戸塚駅西口徒歩5分） 定員 60 名 参加費無料 主催：東戸塚 9 条の会 後援：9 条の会戸塚区協議会 問合せ：090-4928-1837（伊藤）
- ☆10月22日（水）13:00～16:30 **栄区革新懇総会・記念講演** 記念講演 13:00～14:30 総会 14:40～16:30 会場：サカエスタ 3 階中会議室（JR 本郷台駅徒歩6分） 記念講演： 講師 宮本徹さん（日本共産党 前衆議院議員）「極右・排外主義とどうたたかうか」 主催：栄区革新懇 問合せ：090-1258-4710（筒井）
- ☆10月25日（土）13:00～17:00 **日本科学者会議神奈川支部研究交流会「深刻になる異常気象―気候危機は打開されるのか」** 会場：かながわ労働プラザ 4 階第 4 会議室（045-633-5413） 参加無料 交通：JR 石川町駅北口徒歩5分 記念講演 1：日本における環境影響評価法の歴史 石原元（株W&I アソシエーツ）、記念講演 2：気候危機を止めるための視点と行動 山本大貴（record 1.5） 話題提供：1）再生エネルギーで脱炭素は可能なのか（仮題） 歌川学（産業技術総合研究所主任研究員）、2）神奈川地学ハイキング 70 回の歩み―1 人でもできる普及活動 後藤仁敏（鶴見大学名誉教授）、3）横須賀石炭火力発電所の建設反対運動とその後・・・（仮題）鈴木陸郎（「エネルギー問題を考える横須賀の会」共同代表）、4）ブラックホールは白くなる 北山宏之（JSA 神奈川民間企業会員懇談会）、5）繰り返す水

道料金の値上げ一生存権は保障されるのか 飯岡ひろし (SUW 研究所代表、水資源・環境学会理事) 問合せ: 080-1987-0994 (飯岡)

☆10月25日(土)14:30~17:00 **参政党らがスパイ防止法!? それより秘密法・共謀罪等の廃止へスパイ防止法について 東戸塚9条の会との共催の学習会** 会場: 日本キリスト教団・蒔田教会教育館(横浜市営地下鉄蒔田駅徒歩3分) 講師: 海渡雄一(弁護士) 参加費 300 円 共催: 日本基督教団神奈川教区秘密保護法反対特別委員会/東戸塚9条の会 連絡先: 090-4428-1837 (伊藤)

☆11月8日(土)14:30~ **松元ヒロ ソロライブ Vol.18in 杉田劇場** 会場: 杉田劇場ホール(新杉田駅徒歩3分) 料金: 前売券 3500 円、当日券 4000 円 チケットの申込み・問合せ: ホームページ <http://geinin2.syoutikubai.com/> メール: [erbu\(at\)kf.netyou.jp](mailto:erbu(at)kf.netyou.jp)

☆11月9日(日)9:00~17:00 **日本科学者会議 60 周年記念 第1回日本科学者会議 PFAS 問題全国シンポジウム** オンライン ZOOM 開催 参加: 無料ですが、カンパを次の「投げ銭」システムでお願いします。投げ銭システム(クレジットカード払い): <https://square.link/u/2lp4jVpM> 参加申込み: 下記の Google フォームからお願いします。
<https://docs.google.com/forms/d/1FAlpQLSepgc6rZccpEsk-gjw0D0EjjRfvcPp30EVp01ZKHYPVVic3Q/viewform?usp=header> Zoom 参加の登録: 次の URL からお願いします。 <https://us06web.zoom.us/j/87216880854?pwd=7eY8ykofjXdb58jikJYGi3gBRTILE.1> ミーティング ID: 872 1688 0854 パスコード: 254936 プログラム: 開会あいさつ 基調講演 畑明郎(PFAS 問題研究委員会委員長)、小泉昭夫(京都大学名誉教授)「吉備中央町 PFAS に関する健康影響評価の暫定結果報告の問題点:住民による登録研究の可能性」、原田浩二(京都府立大学教授)「PFAS による環境汚染の事例と今後の課題」、発表 金谷邦夫(大阪 PFAS 汚染と健康を守る会)「ダイキン現場労働者にみられた間質性肺炎-PFOA 粉塵吸入が関与?」、九尾牧(兵庫県議会議員)「兵庫県明石川の PFAS 汚染調査と宝塚市民血液検査結果」、安曹政治(京都府あやべ PFAS 汚染から健康を守る会準備会)産業廃棄物管理型最終処分場からの高濃度 PFAS 流出」、近藤正(秋田県立大学生物資源学証秋回支都)「秋田市とその周辺にある産業廃棄物処分場からの PFAS 流出」、笹嶋貞子(秋田県大館市 PFAS と市民の健康を考える会、「河川の PFAS 汚染対策を求めて」、畑明郎(元大阪市立大学教授・滋賀支部)「京都府と滋賀県の PFAS 汚染」、松岡武夫(四日市公災害市民ネット・三重支部)「三重県四日市の PFAS 問題と公害の教訓」、鈴木孝雄「清水 PFAS 問題を考える会連絡会」「静岡市清水区 PFOA の現在、過去、未来」、今尾明実(PFAS 汚染からいのちと水を守る各務原市民の会)「岐阜県各務原市における 2 回目の血液検査結果と現状」、長岡ゆりこ(大阪 PFAS 汚染と健康を考える会)「大阪 PFAS 汚染と健康を考える会の活動・運動」、和口壮平(ダイキン公害問題を考える会)「公害行政の進歩と退化:ダイキン PFOA 問題に対する公害調停の取り組み」、小橋かおる(有害物質に関する人権擁護者/HR Defender on Toxics)『「ビジネスと人権」から考える企業由来の PFAS 汚染:汚染事業者の責任とはなにか」 総合討論: PFAS 汚染にどう立ち向かうか 主催 日本科学者会議 PFAS 問題研究委員会 連絡先メールアドレス: [hata.akio\(at\)gaia.eonet.ne.jp](mailto:hata.akio(at)gaia.eonet.ne.jp)

☆11月15日(土)14:30~16:30 **栄区九条の会 20 周年記念レセプション** 会場: あーすぷらざ 2 階レストラン「ソバーニ」(JR 本郷台駅東に 3 分) 会費: 3000 円(飲み物、食べ物付き) 世話人からの報告「栄区九条の会の 20 年の活動とお願い」 森内直美さん(絵本・紙芝居研究家)「平和の紙芝居」 皆さんの発言 主催: 栄区九条の会 申込み・問合せ: 参加希望者は 10 月 10 日までに 090-6197-9132 (日隈) に申込みください。

☆11月16日(日)14:00~ **治安維持法 100 年記念神奈川県集会** 会場: 横浜市従会館(桜が超駅徒歩13分) 記念講演: 萩野富士夫(小樽商科大学名誉教授)「治安維持法 100 年の歴史から今を考える」 参加費 800 円 主催: 実行委員会(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川県本部、日本救援会神奈川県本部、レッドパージ反対全国連絡会センター(神奈川)、神奈川いしずえ会) 問合せ: 090-9109-0173 (小澤睦夫)

☆11月24日(月・祝)①10:00~、②14:00~ **映画上映会「父と暮せば」(黒木和雄監督)** 会場: 厚木市文化会館小ホール(小田急線本厚木駅南口徒歩11分) チケット代: 一般 900 円、学生・障害者 500 円、当日券 1200 円、高校生以下無料 チケット予約センター: 046-224-9999 厚木市文化会館 主催: 厚木市九条の会ネットワーク 連絡先: 堤昭雄(080-7154-8355)

JSA 神奈川支部幹事会・発送作業 10 月の支部幹事会と発送作業を以下の要領で行ないます。

日時: 10 月 25 日(土)11 時~12 時、発送作業は 11 時、幹事会は 11 時 30 分から。

会場: かながわ総研事務所(横浜市中区不老町 1-6-9 第 1HB ビル 5 階、1 階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの 5 階、JR 関内駅西口徒歩 3 分)。

当日、13 時から支部研究交流会 会場: 横浜市技能文化会館 603 会議室(JR 関内駅または地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩 5 分)

連絡先: 飯岡ひろし(携帯: 080-1987-0994、E-mail: [jsa.kanagawa\(at\)gmail.com](mailto:jsa.kanagawa(at)gmail.com))

次号の原稿の募集: 近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月 10 日ごろの締め切り、15 日ごろの発送です。

送り先: 後藤仁敏(E-mail: [goto\(at\)kd5.so-net.ne.jp](mailto:goto(at)kd5.so-net.ne.jp)、Fax: 045-894-1052)